

2025 年 10 月 19 日（日）第二礼拝「蜂蜜よりも甘い主の御言葉」詩篇 119 篇 103 節

御言葉は、単なる概念や教えではありません。御言葉を通して主の素晴らしさを味わうことができ、御言葉を体験できると聖書は教えています。

第一番目、御言葉を食べ、味わうことは喜びです。「私はあなたのみことばを見つけ出し、それを食べました。あなたのみことばは、私にとって楽しみとなり、心の喜びとなりました。万軍の神、主よ。私にはあなたの名がつけられているからです。」（エレミヤ 15：16）主の御言葉を探し、見つけ出し、食べる時、それが私たちの楽しみとなり、喜びとなって、満ち溢れるようになります。ダビデは「私はあなたを切に求めます。水のない、砂漠の衰え果てた地で、私のたましいは、あなたに渴き、私の身も、あなたを慕って気を失うばかりです。」と告白しました（詩篇 63：1）。鹿が谷川の流れを慕いあえぐように、ダビデは主を慕い求め、御言葉によって満たされる体験をしていたのです。私たちも日々主を慕い求め、御言葉によって満たされ、溢れ流れるように求めていきましょう。御言葉を通して主に会い、主に近づき、主を深く知ることができるのです。その体験を重ねる度に、私たちの喜びは更に満ち溢れるでしょう。

第二番目、力と大胆さを受けます。主の喜びを知る以前、私たちは心を違うもので満たして歩んでいました。しかし、主に会い、聖霊様に満たされることにより、心が葡萄酒に酔ったように喜びで満ち溢れ、力と大胆さを受けました。私たちは地の果てまで主の証人となることのできるのです。イエス様が昇天された後、リーダーのいない状況下で、弟子たちは扉に鍵を閉めて、部屋の中で怯えていました。そのような弟子たちに聖霊様が下った時、彼らは勇士のように大胆に証をする者となり、喜びと主への賛美が溢れ流れるようになったのです。その証を聞いた人々が集まってきて、初代教会は大きく成長しました。

第三番目、主の永遠の契約です。「耳を傾け、わたしのところに出て来い。聞け。そうすれば、あなたがたは生きる。わたしはあなたがたとこしえの契約、ダビデへの変わらない愛の契約を結ぶ。」（イザヤ 55：3）主は渴いている者、疲れた者、重荷を負っている者をみな招いてくださり、休ませ、癒され、満たしてください。イエス様が私たちの罪のために十字架で血を流して死んでくださったことにより、神様は永遠の契約、変わらない愛の契約を私たちと結んでくださいました。私たちの罪の結果、神様に散らされ、見捨てられ、御顔を隠されることがあっても、神様はもう一度私たちを集めてくださり、永遠の変わらない愛をもってあわれんでくださるのです。ただ、イエス様の十字架の贖いを信じるだけで、神様との永遠の契約を受け取ることができます。それは主の願いでもあります。

私たちはかつて、羊のようにさまよい、自分かつてな道に向かって歩んでいました。しかし、主は私たちのすべての咎をイエス様に負わせられました。イエス様は私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために碎かれました。イエス様への懲らしめが私たちの平安をもたらし、その打ち傷によって、私たちは癒されたのです。たとえ、山々が動き、丘が動いても、どのような状況に置かれたとしても、主の愛は私たちから移らず、主の平和の契約は動かないと約束されています。私たちはイエス様の血潮で洗いよめられ、新しい人生を歩むことができ、大胆に御言葉の約束に立つことができます。今が御言葉を聞く時、恵みの時です。主に感謝し、主の約束、主の御言葉を味わって食べ、口ずさみ、大胆に宣言していきましょう。アーメン！